

【令和7年度子どもの貧困対策に関する職員研修及び 教員との合同研修実施報告】

【職員研修】

【実施概要】

日 時:令和7年10月30(木) 10時～正午

会 場:子ども包括支援センター みらいく3階 多目的室1～4

参加者:41名

目 的:①講義の内容を基に自ら考えることで、教育・福祉の連携の重要性及び、子ども・若者の意見表明等、子どもの権利の保障・擁護について各職員に意識付けをする。
②他課職員とのグループディスカッションを通して連携意識の醸成を図る。

【内容】

◆ 日野市におけるスクールソーシャルワーカー(SSW)の役割等:(5分)

講師:日野市スクールソーシャルワーカー(発達・教育支援課)

- ・日野市のSSWの立ち位置や役割について
- ・実際の動きや狙いなど

◆ 子どもの支援における教育と福祉の連携の意義

～子どもの権利擁護と意見表明の視点から～:(35分)

講師:福田 憲明氏(明星大学 心理学部 心理学科教授、

日野市子どもの貧困対策推進委員会委員長)

- ・教育・福祉の連携の重要性
- ・子ども・若者の意見表明の重要性、子どもの権利の保障・擁護等について

◆ グループディスカッション(約60分)

- ・自己紹介/アイスブレイク(5分)※自己紹介は名札使用により短縮
- ・グループディスカッション(45分)※資料4-2ワークシート参照
- ・共有/講評(10分)※全グループより発表

◆ 総括・質疑応答(10分)

- ・総括(5分):福田 憲明氏
- ・質疑応答(5分)

【実施まとめ】

- ・福田先生の講義に先立ち、エールのSSWより日野市におけるSSWの役割や動き等を説明
- ・名札に子どもの頃のあだ名を書いてもらい、子どもの頃を思い出してもらいながらグループワークに取り組んでもらった。内容についても子どもの頃の気持ちを考えてもらうものとした。
- ・話し合いの結果をワークシートにまとめて、全グループより発表してもらった。
- ・研修終了後に参加者へアンケートを実施。※資料4-3
- ・講義部分については動画を撮影しており、全庁に向けて配信。

【教員との合同研修】

【実施概要】

- 日 時:令和7年11月5日(水) 14時30分~16時
会 場:本庁舎2階 職員休憩室
参 加 者:日野市幼小教研 教育相談部所属の教員:12名
 エールSSW:3名 日野市ヤングケアラー・コーディネーター:1名
目 的:①当課の事業や役割等を知ってもらう
 ②市と学校現場との連携体制を強化する。

【内容】

◆ みらいく「中高生世代スペース」見学(約30分)

- ・2班に分かれて「中高生スペース」の見学及び子ども家庭支援センター職員による説明
- ・「中高生スペース」実施事業者への質疑応答

◆ セーフティネットコールセンター事業紹介(約25分)

- ・セーフティネットコールセンターより各係の事業紹介

◆ 質疑応答、意見交換(約15分)

◆ 総括(約5分):教育相談部 担当副校長

【実施まとめ】

- ・初めての試みではあったが、お互いの困りごと等の共有をすることができた。
- ・当課の事業や役割を知ってもらう事で相談しやすくなったという声をいただいた。
- ・「中高生スペース」の見学で教室のレイアウトの参考になったという声をいただいた。
- ・次年度以降も継続的に行いたいという話があった。